



Ad-Human - あなたの顔に新しい価値を -

チーム名：FAMILY05

エントリー番号：5 -1

人は多くの趣味を持っている。しかし、多くの人は友達でも主要な趣味を知っている程度である。近年では、SNSという他人との繋がりを促進するサービスがあり、自分の趣味などの情報を載せる場所があるが、友達でも全て把握するのは難しい。そこで本チームは、自分の趣味を手軽に周りに面白く伝える事ができるAd-Humanを提案する。Ad-Humanは、その人の趣味に基づいた広告を顔部分に重ねて広告するサービスである。見られる側は、趣味を知ってもらう事で笑顔になり、見る側は、予想外の組み合わせや共通の趣味の発見から笑顔になる。また、周りの人の趣味を手軽に見る事で、今まで知らなかったその人の一面を考えさせられる。

背景

街や駅に出れば、至る所に広告がある。また、Web上でもブラウザでページを開けば至る所に広告がある。このように、私たちの住む世界は現実もWebの世界も広告に溢れている。これら広告は、利用者の特性に合わせた方法を用いている。現実世界であればその場所に訪れる客層に応じて広告を変える。Webの世界であれば、ページ自体の種類と同じような広告を出したり、検索ワードに応じて変化するリスティング広告、利用者のWeb上のログ解析を行うオーディオターゲティングなど様々な方法がある。しかしこれらは、一方的な広告であり、利用者に押し付けている側面がある。そこで本チームは、押し付けるような広告のあり方ではなく、利用者が遊び感覚で楽しめ、利用者自身に広告するメリット以外にも付加価値を与える事が出来ないかと考えた。

目的

本チームの目的は、広告という形で自分の趣味を気軽に面白く周りに伝える事である。今までにも趣味を共有する事ができるSNS(Social Network Service)というサービスがある。しかし、よほど仲が良くない限りその人の趣味を全て知っているケースは少なく、あまり活用されていない。その原因として、実際に趣味が記されている場所を閲覧していなかったり、閲覧していても印象が弱く覚えていない事がある。そこで本チームは、AR技術を用いて、人の趣味を手軽に周りに面白く伝えることができる広告型アプリAd-Humanを提案する。このアプリを活用すれば、自分自身の趣味を手軽に知ってもらえるだけでなく、友達との新たな共通の趣味の発見や、周りに広告をするので自分の趣味に対して貢献することができる。

Ad-Human

Ad-Humanは、人の顔部分に画像や動画を重ね合わせる広告型アプリである。重ね合わせる画像などは、その人のSNSから得られる趣味情報を基に決定される。次にその概要を示す(図1)。



見られる側の SNS から趣味情報を取得

図1. Ad-Human

人を笑わせ、そして考えさせる

人を笑わせるには、予想外な要素がきっかけになると考えている。例えば、お笑い番組をみて笑ってしまうのは、出演者のやりとりが自分の予想していた方向とは異なっていたためである。また、宝くじが当たるなどの良い出来事が起こると笑ってしまうのは、自分の未来にそんな良い出来事が起きると思っていなかったためである。つまり、人は自分が予期していた未来と現実を異なった場合に笑ってしまうと言える。

Ad-Humanでは、人の趣味を利用し人の顔部分にその趣味に基づいた広告を組み合わせた拡張現実された世界を見せる。それによる予想外の効果は大きく分けて次の3種類があると考えられる。

1. 見られる人が、そのような趣味があるとは思わなかったという『意外性の予想外』
2. 見られる人が、見る人と共通の趣味を持っていた『興味的一致による予想外』
3. 組み合わせて表示されるもの自体が非日常的で面白い『組み合わせによる予想外』

このような予想外を基に人を笑わせ、趣味を通して今まで気づかなかったその人の一面を考えさせる。また、趣味が近そうな場合には、他にはどのような趣味があるのといったその人自身に興味を知りたくなるのではないかと考えられる。

利用の流れ

Ad-Humanは、スマートフォンのアプリである。前提条件として、人の趣味情報を取得するために、SNS(Facebookやmixiなど)のアカウントを初回登録時に求める。また、顔を特定するために、正面写真の顔写真の撮影も同じく初回に行う必要がある。

このアプリは、スマートフォンをかざした時に、顔部分に趣味に基づいた広告を表示する。そこでまず、カメラから得られる映像から顔検出を行い、検出された顔がどの人物なのかマッチングを行う。この処理を行うために、画像処理ライブラリであるOpenCV2.2を用いた。その後、一致した人物のSNS上から趣味情報を取得し、キーワードとカテゴリから顔部分に貼り付ける広告を決定し、ディスプレイ部にその結果を表示する(図2)。

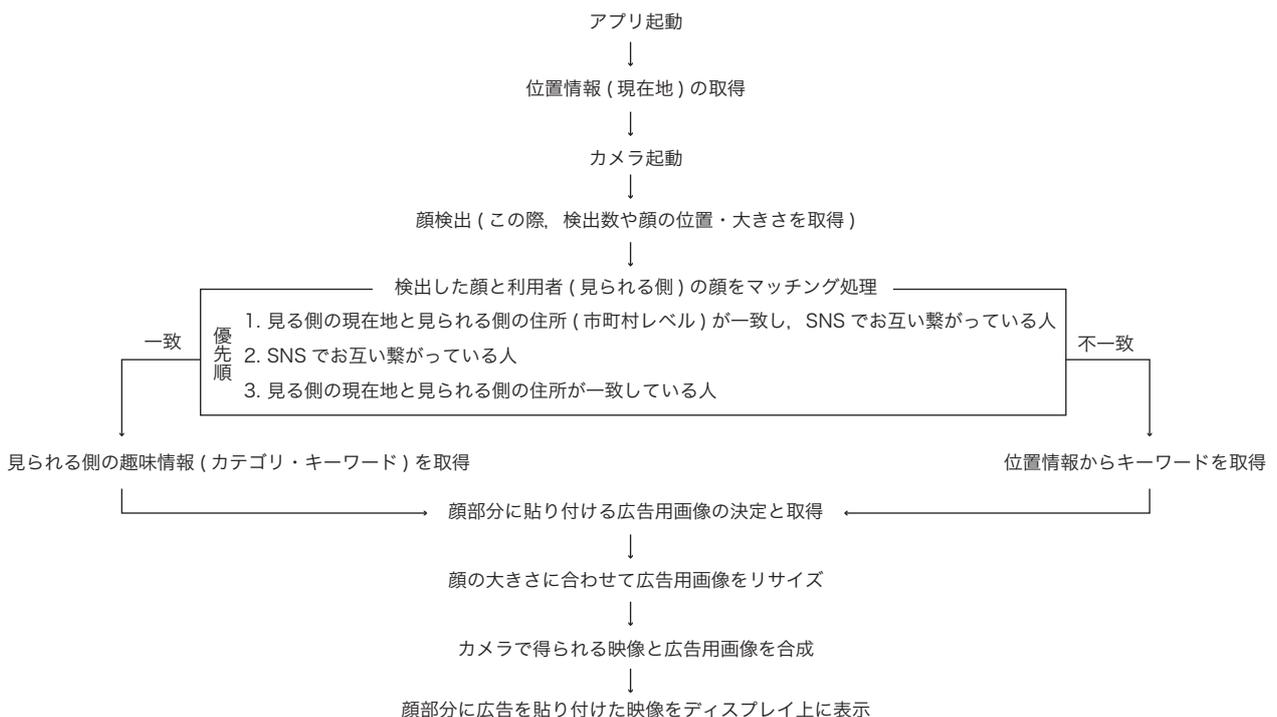


図2.アプリ起動から表示までの流れ

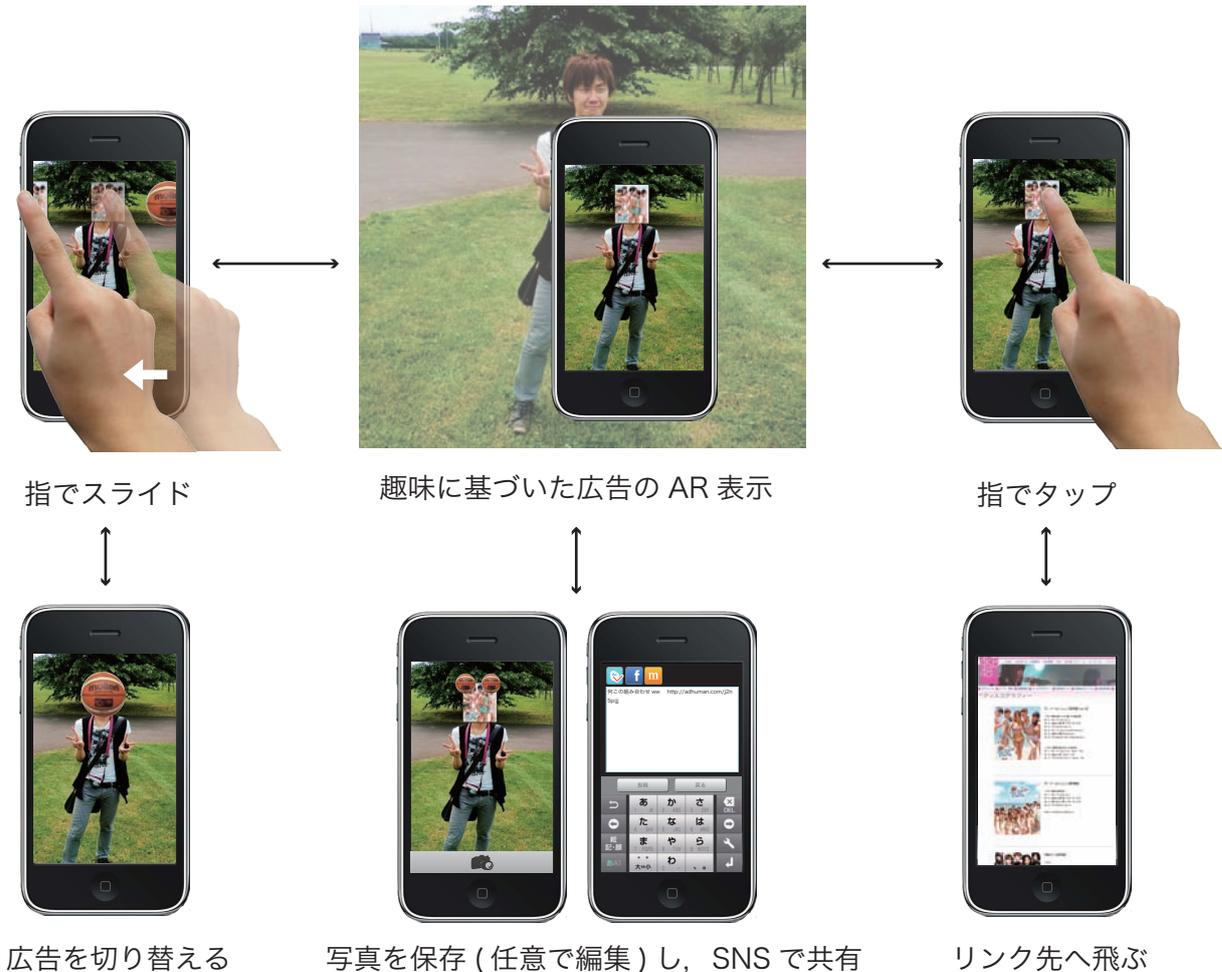


図3.機能一覧

Ad-Humanには、主に次のような機能がある(図3).

- 趣味に基づいた広告のAR表示機能

Ad-Humanを起動すると、顔部分にその人の趣味の広告を重ね合わせた映像が表示される。この時、顔が広告に重ね合わせられるのは、同じくAd-Humanに利用登録しているユーザのみである。登録していないユーザを検出した場合には、GPSで場所を取得しその場所にあった広告を行う。

- 表示された広告の切り替え機能

見ている側の人には、スマートフォン画面を左右に指でスライドする事で表示された広告を切り替える事ができる。これにより、様々な組み合わせを見て楽しむ事ができる。

- 表示された広告からその広告に基づいたリンク先にとぶ機能

表示された広告をタップすると、その広告に付加されていたURLから、商品販売ページ、キャンペーンサイト等にアクセスできる。

- AR表示されたものを写真として保存し、編集する機能

ARで顔部分に広告がある映像を写真として保存できる。保存後、任意でその人の他の広告をパーツとして選択し、指でドラッグして配置し編集する事もできる。

- SNS(twitterやface bookなど)を利用して気軽に写真を共有投稿できる機能

写真で保存した場合、それを全体で共有するためにSNSにコメントと一緒に投稿できる。それにより、面白い写真を共有できると共に広告効果も期待できる。

あ、A美達だー！また何か盛り上がってるなあ。
なんで、あんなに仲が良いんだろう？
ちょっとAd-Humanで見たらわかるかな！



↓ Ad-Humanを起動する



なんだこの組み合わせ(笑)
みんな趣味はバラバラだねー。
ん・・・！！A美は阪神ファンだったのか！？
全然好きそうに見えなかったのに・・・。
今度その話してみよう！

↓ 指でスライドして広告を切り替える



あっ、みんなビールになった(笑)。
そういえば、お酒みんな強かった気がするなあ。
だからこの3人はいつも一緒に仲がいいのか(笑)。
これ面白いから写真撮ってみんなで共有しよう。

↓ 写真で保存してSNSで共有する



(ビール・・・大好き・・・3人組。笑)っと。
この写真みて皆どういう反応するんだろう。
楽しみだなー！！
他の人達もなにか面白い発見あるかな？
ちょっと見てこよっと！！

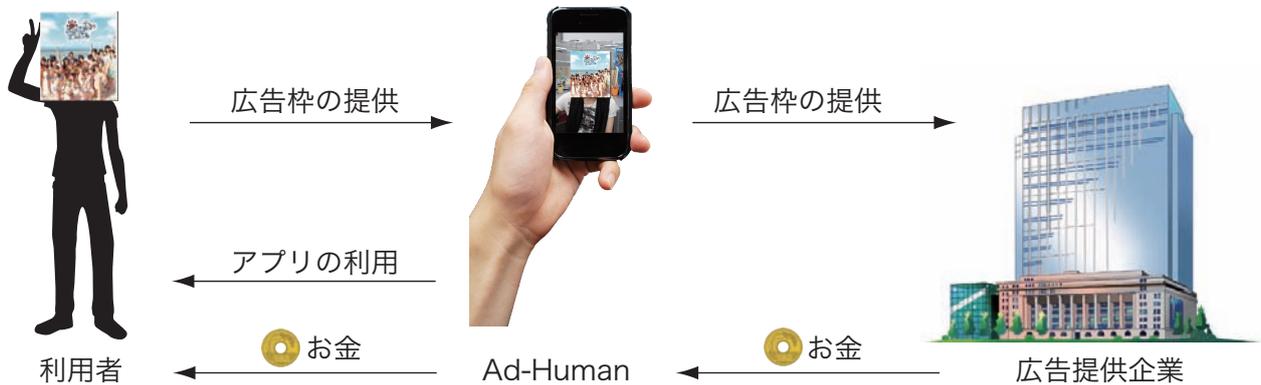


図4.ビジネスモデル

利用者の顔を自分の趣味に基づいた広告にする事で、その広告されるものが企業と提携していた場合、その広告効果に応じて、利用者が収入を得られる (図4).

●利用者側のメリット

- 自分の趣味嗜好を周りの人に気軽にアピールできる.
- 広告効果に応じた収入が得られる.
- 面白い世界が見られる(写真保存可能なので、面白い写真が撮れることも含まれる).

●企業側のメリット

- 企業の製品・サービスに関連の深い趣味を持つ人達が、周りの人々に広告してくれるので、一方的に広告するより広告効果が高いと考えられる.
- 企業側は、広告してもらいたいものをデータとして作成するだけで良いので、コストを抑えられる.

おわりに

本チームは、今までにない広告の仕方を実現したAd-Humanを提案した。これは、従来の広告の仕方と違い一方的なものではなく、他人の趣味を知ると共に面白い映像を見せる遊び感覚の仕方をしていく。利用者も、自分が広告をしている感覚ではなく、「面白い世界を見たい」や「面白い写真をみんなに見せたい」と思いながら利用する。また、私達の顔はその人と判断するための象徴的な部分であり、男女問わず目が行きやすい部分でもある。そこで、その部分にその人の趣味に基づいた広告をし、その人の顔に新しい価値を提供する。このように、Ad-Humanには暗い話題になりがちな日本社会に笑いと活気を取り戻し、新しい広告の在り方を確立するだけのポテンシャルがあると私たちは信じている。